

プロが選んだマフラーの話 すべては乗り続けるために

オランダの技術とドイツのデザインが融合して作られたジキル & ハイドマフラーの伝道師、トライジャ代表岡本氏。カスタムショップとしてさまざまなマフラーを見てきた中で、岡本氏がこれほどまでにジキル & ハイドに惚れ込んだ理由とは。



TRIJYA
大阪府柏原市本郷5-4-18
☎072-970-3110
http://trijya.com/

「将来を見た時に、日本の法律であったり、世界がどういう方向に向かっていくかってなった時には、この会社しか残らないと思ったんです」
—それは排ガスの問題ですか？
「そうです、触媒です。日本の場合は、車検にさえ合格すればバイクって乗れますよん。2年に1回元に戻したら、また好き勝手に乗りますよん。この考え方が世界で一番遅れているんです。法律ができる……規制がかかるには理由があるんですよ。ちょっと話が飛びますけど、例えば進歩するってなった時も、大学に入ることだけが目的になって教育ができてないからおかしくなる。就職も同じで、そこに入ることだけが目的で、先に進んでないじゃないですか。日

欧州の全基準をクリアした唯一のマフラー。
その素晴らしさをお客さんが広めてくれた。

本はそんな感じがいまだに根強いんです。そんな視点から見ると、彼らがすごいなと思ったのは、Eマークもそうですし、ニッケルの含有率が環境に優しいクロムはダメだとか、他にもヨーロッパの基準のすべてをクリアしてんです。マフラーメーカーとして唯一。日本の場合は、ノックスの時もそうでしたけど、右へならえていきなり規制が始まる。経験上、必ずそうなるってのがわかってるから、この先、日本でもバイクに乗り続けるために、ジキル & ハイド（以下ジキル）と取り引きしようと思ったんです。もちろんクオリティもすごいし、それに対する保証であったり、ブランドインクもすごいし。去年の話なんですけど、世界で一番厳しいと言われていたドイツの環境負荷が彼らを表彰してましたからね。

—それがようやく日本に浸透してきている感がありますね。
「それは結局、ジキルが、品質の保証……あとでトラブルがおきた時に、ちゃんと面倒見てくれるかどうかが、お客様のクレームにちゃんとお応じしてくるかどうかが、そのあたりがちゃんとしているから、お店にだけじゃなく、お客さんからの口コミが増えたと感じています。お店さんに納得してもらっても大事なこと、お客さんに納得してもらって、から、お店さんに言ってもらって、それが多かったんです。なんで日本でのジキルは、お客様にこのスタイルを作ってもらった、僕はそう思っています。感謝感謝です」

Dr. Tekill & Mr. Hyde. 車検対応合法電子制御音量可変式マフラー



BAGGERS' VIRGIN ROAD

バガーズ・バージンロード



バガー & パフォーマンスカスタム初めて講座 / その5

パフォーマンスを謳う以上、マフラーは最重要パーツのひとつ。規制の厳しくなった昨今でも、各社が知恵を絞ってさまざまなマフラーをリリースし続けている。果たして最新のマフラー事情とは!?

text: James Sekijima

